

# 陳情

結論の付いた陳情は次のとおりです。

## ◆採択

○選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書を国に提出することを要望する陳情書(4・15号)

## ◆不採択

○中国共産党による臓器取奪の即時停止及び人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情書(4・9号)  
(不採択理由)  
新疆ウイグル等の人權状況に対する懸念はあるが、事実であることを確実にさせる基礎が市議会にはないことから、意に沿い難い。

○福生市特別職員の職務の宣誓に関する条例の制定を求める陳情書(4・10号)  
(不採択理由)  
法が適用する範囲を超えて、新たに特別職の職員に対し条例を制定し、職務の宣誓を義務づける必要はないことから、意に沿い難い。

○自治体憲法としての「福生市憲法条例」の制定を求める陳情書(4・11号)  
(不採択理由)  
現時点において市に憲法条例はなじまず、制定については必要性が見いだせないことから、意に沿い難い。

○建設アスベスト被害の全面解決へ、アスベスト建材製造企業の基金拠出等、「特定石棉被害建設業務労働者等に対する給付金等の支給に関する法律」の改正を求める国への意見書提出を求める陳情書(4・12号)  
(不採択理由)  
現在既に、国の給付者給付金とは別に病態とばく露期間に応じて賠償を求めていく裁判が行われているが、地方議会がこの裁判に意見することは適当ではなく、また建材メーカーが国の給付金の仕組みに加わるか、また、国の法改正で迅速な給付対応が可能かも不明であることから、意に沿い難い。

○新型コロナウイルス感染症と原油・原材料高騰の打撃から経営難に直面する市内の事業者への支援を求める陳情書(4・13号)  
(不採択理由)  
原油・原材料や物価高騰の影響を受ける中小事業者への支援は重要と考えるが、地方行政は市全体のバランスをとりながら行政運営を行うものであり、既に福生市では、事業者及び市民向け支援として、国からの交付金を活用した事業を行っていることから、意に沿い難い。

○正規職員採用に関する陳情書(4・14号)  
(不採択理由)  
安定的に市政運営を行うため、計画的に職員採用を行ってきており、就職氷河期世代についての採用も行ってきたことから、意に沿い難い。

# 討論

●令和3年度福生市一般会計決算認定について

## 反対

行財政運営について、市の財政力を積極的に活用すべきであったこと。福生駅西口の複合公共施設と引き換えるに、今も大きな役割を果たしている公共施設を20%も削減しようとしていること。市の重要課題である人口減少、特に、子どもとその親世代の減少に対して新たな効果的な施策がなかったこと。地域公共交通の整備がされなかったこと。市政世論調査の横田基地の賛否に対する設問が恣意的であり、市民の横田基地に対する賛否が正しく反映されていないことから、本決算に反対する。

## 賛成

行政評価及び組織改正等の見直しを行い、効率の良い行政運営へと改革され、施設保全・改修計画を策定したことを評価する。また、多様な市民の生活に対応できる子育て支援の体制を整え、対応されたことを高く評価する。

教育行政では、個別最適化する学びと集団の中で培う協働的な学びのため、必要な整備を整え推進され、また、不登校対策やスタディ・アシスト事業等の実施を確認し、教育を受ける機会の確保と、成長に欠かせない実体験の場として有効であると評価することから、本決算に賛成する。 ※そのほか次の議案等に対しても討論がありました。

## 賛成

令和3年度は、市税等の大幅な減収が見込まれる厳しい予算編成となったが、12回の補正予算を加え、市民や市内事業者等に対する感染症対策に重点的に取り組んだ決算であることを確認した。

感染症対策では、自宅療養者等生活支援事業、プレミアム付商品券事業、キャッシュレス決済ポイント還元事業等の実施を確認した。また、高齢者・障害者等への支援、子育て支援、都市施設整備、教育環境整備など、福生市総合計画第5期の大綱実現に向けた決算であることから、本決算に賛成する。

令和3年度は、前年度同様、コロナ禍での予算執行となり、補正予算を第12号まで計上した結果、歳出決算額は大幅に拡大し、新型コロナウイルス感染症の影響から中止となった事業等を除いて、予定していた事業は概ね執行されたことを確認した。行財政改革では、公共施設の計画的な保全等を推進するための施設保全改修計画の策定、地方公会計制度に

基づくコスト情報を活用した新たな行政評価の試行実施、PDCAサイクルの期間短縮など高く評価することから、本決算に賛成する。

## 賛成

教育行政では、個別最適化する学びと集団の中で培う協働的な学びのため、必要な整備を整え推進され、また、不登校対策やスタディ・アシスト事業等の実施を確認し、教育を受ける機会の確保と、成長に欠かせない実体験の場として有効であると評価することから、本決算に賛成する。

令和3年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

令和3年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について

令和3年度福生市下水道水道事業会計決算認定について

令和3年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について

令和3年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について

令和3年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について

令和3年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について

# 委員会の審査から

各常任委員会から報告された  
主な審査概要をまとめました

## 建設環境委員会

9月13日に委員会が開催され、3件の議案を審査し、原案のとおり可決及び認定されました。また、陳情2件は不採択となりました。

●令和4年度福生市一般会計補正予算(第6号)建設環境委員会所管分

問 キャッシュレス決済ポイント還元事業について、3つの決済アプリとした理由を伺う。

答 幅広い利用者に対し消費喚起を促すとともに、市内事業者のデジタル化を推進したい旨の市商工会の意向を承認したため。

●令和3年度福生市下水道事業会計決算認定について

問 福生市下水道総合計画について、事業内容の詳細を伺う。

答 本市の下水道の将来像と実現に向け、今後30年間に取り組む施策を示したもので、基本方針を基に今後必要な対策を見据え、計画を改定した。

●市道路線の認定について

問 何らかの認定を受けていた道路かを伺う。

答 本路線については、位置指定道路ではないが、

建築基準法の第42条2項道路という扱いである。



▲認定された市道第339号線

## 市民厚生委員会

9月14日に委員会が開催され、7件の議案を審査し、原案のとおり可決及び認定されました。また、陳情1件は採択となりました。

●福生市高校生等の医療費の助成に関する条例

問 福生市が独自に所得制限を撤廃した理由を伺う。

答 小・中学生を対象とするマル子の制度における所得制限の撤廃は、福生市の子育て施策の中でも特徴的な施策である。

●令和3年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

問 傷病手当金の支給件数や周知方法は。

答 申請に基づき支給を行い、令和3年度の支給件数は18件であった。周知方法については、国民健康保険だよりに掲載し、全戸配布を行った。

●令和3年度福生市介護保険特別会計決算認定について

令和3年度の介護保

これにならない、所得制限を撤廃した。

●令和4年度福生市一般会計補正予算(第6号)(市民厚生委員会所管分)

問 地域外来・検査センター運営体制確保支援補助金がこの時期の補正予算で上程された理由は。

答 医師会に補助する業務災害補償保険の契約が10月下旬で満了のため。

●令和4年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

問 予備費に1億円が積み立てられた理由は。

答 高額な医療費の支払いなど、急激な医療費の伸びに対応できるよう増額した。

●令和4年度福生市介護保険特別会計補正予算(第1号)

問 介護認定審査会をオンライン化する目的は。

答 高齢者人口の増加に伴い、審査会での判定業務の効率化を図るため。

●令和3年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

令和3年度の介護保



▲高校生等の医療費助成担当「子ども育成課」窓口